

「統一的な基準」に基づく財務諸表の公表（令和6年度決算）

総務省から示された「統一的な基準」に基づき、企業やその他の法人で広く採用されている会計手法（複式簿記）による向日市の決算書類として「財務諸表」を作成しました。

財務諸表から得られる財政指標を用いて、向日市の財政状況についての分析結果を公表します。

一般会計財務諸表の概要

1 貸借対照表（BS）

資産 計 670億47百万円	負債 計 178億93百万円
固定資産 625億52百万円	固定負債 159億19百万円
うち償却資産評価額 339億 3百万円	流動負債 19億74百万円
うち減価償却累計額 201億78百万円	純資産 491億53百万円
流動資産 44億95百万円	
うち財政調整基金等 27億45百万円	

2 資金収支計算書（CF）

業務活動収支	30億17百万円
投資活動収支	▲21億78百万円
財務活動収支	▲ 9億63百万円
本年度資金収支	▲ 1億24百万円
前年度末資金残高	17億85百万円
本年度末資金残高	16億62百万円

※ 本表の詳細版及び連結財務諸表等もホームページ等で公表していますので、あわせてご覧ください。

3 行政コスト計算書（PL）・純資産変動計算書（NW）

経常費用	210億47百万円
経常収益	6億77百万円
純経常行政コスト	203億70百万円
臨時損益	▲81百万円
純行政コスト	204億51百万円
財源 税金等補助金	156億45百万円 73億52百万円
その他純資産変動額	0百万円
本年度純資産変動額	29億49百万円

財政状況の分析結果

分析の着眼点	指標等
【資産形成度】 将来世代に残る資産はどのくらいあるか	・有形固定資産減価償却率：減価償却累計額÷償却資産評価額＝59.5%
【世代間公平性】 将来世代と現世代との負担の分担は適切か	・将来世代負担比率：負債÷資産＝13.9%
【持続可能性】 財政に持続可能性はあるか（健全性） （どのくらい借金があるか）	・基礎的財政収支（プライマリバランス）： 業務活動収支＋投資活動収支＝23億1百万円
【効率性】 行政サービスは効率的に提供されているか	・市民一人当たり純行政コスト（R7.1.1現在56,186人）：36万4千円
【弾力性】 資産形成を行う余裕はどのくらいあるか	・参考 … 経常収支比率92.3%（地方財政状況調査から引用） （財務諸表を用いた指標の算出方法について引き続き検討）
【自律性】 歳入はどのくらい税金等でまかなわれているか（受益者負担の水準はどうなっているか）	・受益者負担の割合：経常収益÷経常費用＝3.2%